

対象施設の名称	根岸社会教育館
指定管理者の名称	株式会社 山武
所管部課	生涯学習推進担当 生涯学習課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」((1)～(4))における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

(1) 事業の運営について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地下鉄の出入口に近接しており、図書館との複合施設でもある本建物には不特定多数の者の出入りが多いため、事務室のレイアウトを変更し、警備・防犯面の強化を図るなど、安全面に配慮した運営がなされている点は評価できる。 ○ 職員の教育に関する資格取得への支援や、職員配置における適材適所の原理が強く打ち出されており、良好なサービス提供に向けた体制強化に努められている。 ○ 利用者の午前9時からの利用開始に備え、午前8時30分より開館して準備時間を設けるなど、区民サービスの向上に努めつつ、自主事業として特色ある講座を多数設け、利用者の獲得に努めている姿勢もみられる。
---------	---

(2) 施設の維持管理について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手狭な施設であるため、スペースの有効活用と安全確保は重要であり、そのため可能な限りの清掃・整理が行われている点を評価したい。 ○ 年次計画・月次工程に基づく施設設備の管理や年2回の備品の点検管理を実施するなど、業務水準どおりの管理運営が適切に実施されている。
---------	--

(3) 利用者の満足度について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、地下鉄の乗降口の整備により利便性が向上し、需要拡大が期待できるため、和室のさらなる活用案も早急に検討されたい。 ○ 利用者数と満足度には相関関係が見られ、今後一層の利用者ニーズに即した管理運営に努め、利用者数の増加を図られたい。 ○ 個人情報保護については、マニュアル化や研修の実施などにより全職員に徹底されていることが確認できた。
---------	---

(4) 歳入歳出について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 利用率については目標値に対する実績値が年々向上しており、同時に収支状況の改善もみられているが、さらなる利用率の向上に努められたい。

2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：妥当 (区の評価：妥当)

委員のコメント

- 交通至便で利便性が高いが、今後、さらに利用者の増加も想定されるため、和室の活用方法の拡大を講じる必要がある。例えば自主事業の一環として、邦楽講座の開催も検討されたい。
- 他の施設に比べると和室の稼働率が高いのは、定期的に利用するグループの存在も一因と思われるが、今後、高齢化が進行する中、和室用の椅子の備えなど、さらなるサービス向上策も検討されたい。
- 手狭な施設ながら安全面に対する配慮など、評価できる点が多い。今後とも利用者の声に耳を傾け、区と協力のもと、施設機能の向上に努めてほしい。
- 社会教育館全体の事業計画がほとんど同じ内容となっているが、各施設の特性を考慮し、特色ある事業計画を個別に策定されたい。

区への意見

委員のコメント

- 本施設の立地的な要因より、防犯に関しては、指定管理者とも良く協議し、さらなる安全体制の向上を図ることが重要である。
- 利用率が低いとの理由で和室を無くすという消極的な考え方ではなく、和室用椅子の導入なども検討し、利用率の向上策を積極的に講じられたい。

※ 「委員のコメント」及び「区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	[45] 東京都台東区立根岸社会教育館					
指定管理者の名称	株式会社山武	指定期間	H21. 4. 1 ~ H24. 3. 31			
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	(平成22年3月31日現在) 東京都北区滝野川体育館他31施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	20年	68,965	53,056	15,908		
	21年	60,041	48,546	11,494		
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区根岸5-18-13(根岸図書館1F)					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日(元旦除く)、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール60人 第一会議室40人 第二会議室30人 和室40人					
(6) 人員体制	週40時間勤務 4人 週30時間勤務 1人					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	5講座実施 20回 延参加人数：293人					
4. 予算決算の推移						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料		14,245,000	13,789,000	14,267,000	14,716,000
	料金収入等		2,700,000	3,000,000	2,500,000	2,020,000
	管理経費		16,945,000	16,789,000	16,767,000	16,736,000
決算	委託料		14,245,000	13,789,000	14,130,000	14,716,000
	料金収入等		2,222,415	1,908,045	2,005,400	2,238,255
	管理経費		16,365,484	16,233,928	16,135,400	16,954,255
	収支	0	101,931	-536,883	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
年間開館数	日	343	341	341	340	
ラーニングスクエア講座数	講座	7	12	9	12	
自主事業講座数	講座	1	1	2	5	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度	
利用率	%	45.0	38.1	41.1	45.2	
利用件数	件	1,700	1,490	1,605	1,756	

7. 前年度からの取組				
<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフのスキル向上を図るための接遇教育研修の充実を図った。 ・ラーニングスクエア開校にあたり、区内の人材や地域文化を活用し多様なニーズに対応できるようジャンルの拡大と、受講者の世代拡大に努めた。 ・社教館ニュース「花の雲」を新たに発行し、情報発信の頻度を四半期に1度から毎月に増やすことで、PR活動の強化を図った。 				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。	0：協定等の水準を下回っている。	
		2：協定等の水準どおりである。	-：評価対象外項目。	
		1：おおむね協定等の水準だが課題がある。		
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費縮減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	21年度から教育主任を設置し、社会教育センターの総括主任との連携のもと、館で自主事業を主体的に決定できる体制とした。本館では、交通の便の良さという特性を活かし、夜間の講座を開設することで、仕事帰りの方の学習機会を拡大した。		
(2) 施設の維持管理	A	21年度から館長を置くことにより、社会教育センターとの情報連絡が密接になった。これにより情報伝達が迅速になり、保守、設備点検等、社会教育施設全体の管理運営が円滑になっている。		
(3) 利用者の満足度	A	利用率は上昇しているが、金杉区民館の改修により利用者が流れてきたことも要因として挙げられる。区民館改修終了後についても、利用率を上げていくため、引き続き利用促進を図る必要がある。		
(4) 歳入歳出	A	歳出については、適正に行われている。歳入は金杉区民館の工事に伴う利用者の増という要因も想定されるが、増加している。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
妥当		施設の管理運営は、概ね適切に行われている。利用率の上昇については、金杉区民館の改修という外的要因もあることから、更なる高みに向けて努力していくことが望まれる。		
11. 評価結果への対応				
今後も利用拡大に更なる工夫が必要になると思われるので、館長及び教育主任のリーダーシップのもと、社会教育センターとの連携も図りながら、地域特性を活かした講座の開設などにより、利用率の更なる向上を図っていく。				